

株主の皆さまの声を聞かせください

当社では、株主さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

株主さま向け
アンケート

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。所要時間は**5分**程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>

いいかぶ

検索

アクセスコード 2651

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

ご回答いただいた方の中から抽選で
薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます。

アンケートのご回答期限 2017年12月10日



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

LAWSON

株式会社 ローソン

〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号

TEL 03-6635-3963

<http://www.lawson.co.jp/>

2017年11月発行

© 2017 Lawson, Inc. All rights Reserved.



2017
健康経営銘柄
Health and Productivity



ミックス
責任ある水産資源を
使用した紙
FSC® C007718



本報告書に記載されている当社グループの現在の計画、戦略などのうち、歴史的
事実でないものは、将来の実績などに関する見通しであり、リスクや不確定
な要因を含んでおります。そのため、実際の業績などは、さまざまな要因の影響
を受け、これら見通しと大きく異なる可能性があります。



VALUE BOOK

第43期 中間報告書

2017年3月1日~2017年8月31日

LAWSON

「私たちは“みんなと暮らすマチ”
を幸せにします。」



企業理念・ビジョン・行動指針

当社は、「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」という企業理念のもとに、事業活動を行っております。

企業理念のもとに当社が目指すべきゴールイメージを明確化したビジョンを掲げるとともに、ビジョンを実現するための行動指針を定めています。

企業理念

私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

ビジョン

実行一流企業へ。

全員でお客様のニーズと変化を考えぬき、スピードをもって実行し、マチの暮らしにとって、なくてはならない存在になります。

行動指針

- 1 お客様、マチ、お店を起点に考えます。
- 2 基本を徹底し、革新に挑戦します。
- 3 仮説、実行、検証の質とスピードを高めます。
- 4 規律のもとで自律し、チームでやりぬきます。
- 5 自己の成長を求め、仲間の成長を支えます。

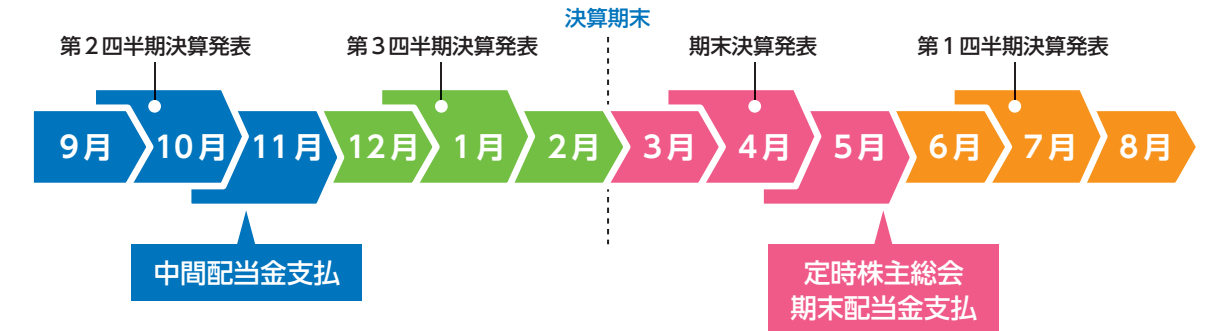
連結業績ハイライト (単位:億円)

	チェーン全店売上高		営業総収入		営業利益	
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期
前 期	10,765	21,579	3,062	6,312	399	737
当 期	11,485	23,100*	3,294	6,720*	389	685*
前年同期比	6.7%増 ▲	7.0%増* ▲	7.6%増 ▲	6.4%増* ▲	2.5%減 ▼	7.1%減* ▼

	経常利益		四半期(当期)純利益		1株当たり配当金(円)	
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	中 間	期 末
前 期	383	730	226	364	125	125
当 期	384	655*	236	335*	127.5	127.5*
前年同期比	0.2%増 ▲	10.3%減* ▼	4.6%増 ▲	8.0%減* ▼	2.5円増 ▲	2.5円増* ▲

*の数値は予想です。

IRカレンダー





代表取締役 社長

竹増 貞信

Profile

竹増 貞信 (たけます さだのぶ)
1969年生まれ。三菱商事株式会社入社、広報部、総務部兼経営企画部社長業務秘書などを
経て、2014年当社入社、副社長。2016年6月
代表取締役 社長に就任、現在に至る。

Q. 当中間期の業績について教えてください。

A. 少子高齢化の進行や共働き世帯の増加、人手不足の深刻化などといった社会の変化に加えて、業界再編の動きも活発化するなど、コンビニエンスストア業界は大きな変化に直面しています。こうしたなか、当社は、「ローソン型次世代コンビニエンスストアモデル」の構築を目指し、2016年度から「1000日全員実行プロジェクト」を開始しました。その2年目となる当期については、生活全般ニーズに対応する品揃えの拡充や、コア商品のさらなる強化、新店を含めた店舗ポテン

シャルの最大化に取り組んでまいりました。その結果、「でか焼鳥」が好調なカウンターファストフード、GODIVAとコラボレーションしたロールケーキなどを含むデザート、品揃えを拡大したサラダを含むデリカカテゴリーなどの売上が好調に推移し、前年同期並みの売上高総荒利益率を維持しつつ、既存店売上高前年比101.0%と日販の改善が進みました。一方、人手不足など厳しい外部環境にあるなか、FC(フランチャイズ)加盟店支援コストが増加したことや、銀行事業への参入準備など中長期の成長に

向けた新規事業へ取り組みも強化した影響から、当中間期の連結営業利益は389億円と前年同期を9億円下回ったものの、期初計画に対しては上回ることができました。一方、連結経常利益は、前年同期に計上した災害損失がなくなったことや為替差損の減少などにより、前年同期比微増の384億円となったほか、連結四半期純利益は、特別利益の発生及び閉店数減による特別損失の減少により、前年同期を10億円上回る236億円となりました。なお、下期

については、上期に続いてFC加盟店支援の強化や中長期の成長に向けた取り組みを実施するほか、タブレット型端末や新型POSレジ導入などITシステム投資の本格化などもあり、通期計画としては、連結営業利益685億円(前年差52億円減)、連結当期純利益335億円(前年差29億円減)としております。最後に、年間配当金につきましては、期初計画どおり前期比5円増配の1株当たり255円(うち、中間配当金127.5円)を予定しています。

Q. 現在進めているローソンの重点政策について教えてください。

A. 2017年度は、昨年着手した「1000日全員実行プロジェクト」をさらに加速させていく1年です。昨年は、牛乳やたまごなどを陳列する冷蔵ケースを増やし、新しい冷凍ケースを導入したこともあり、店頭で展開する品揃えの数は3,500品目にまで拡がりました。今年はこの生活全般のニーズにお応えする品揃えをベースに、コンビニエンスストアのコア商品である弁当やおにぎりをさらに強化するほか、ローソンが他社に負けないカウンターファストフードをさらに充実させていきます。また、個別の商品力強化に加えて、関連するカテゴリーの品揃えの拡大も重要です。たとえば、ランチのニーズに対しては従来からあるボリューム感のある弁当だけでなく、女性のお客さまにもご好評のデリサラダ、お手軽に楽しんでもいただけるスープなども必要ですし、さらには、ランチだけではなく、夕食のおかずやおつまみにもな

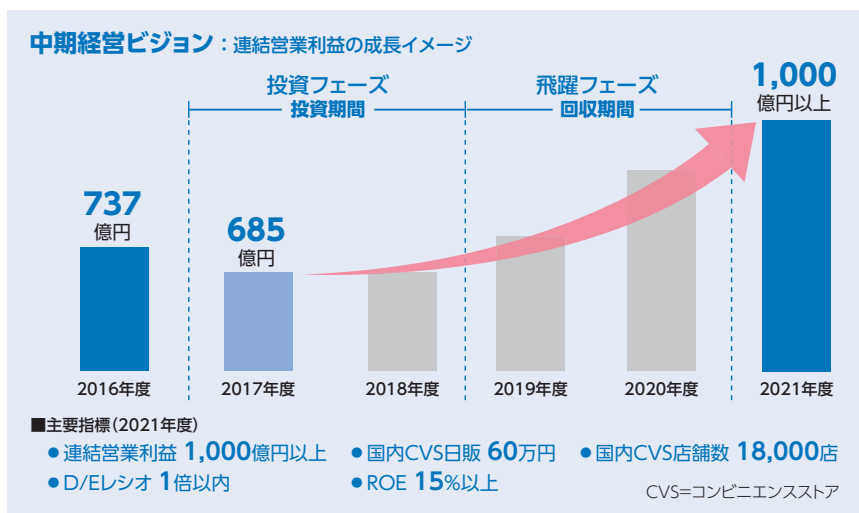
る惣菜や、翌朝に必要な牛乳やたまごなどの品揃えも求められています。また、カウンターファストフードにおきましては、淹れたてコーヒーの「MACHI café」、「からあげクン」や「Lチキ」のようなスナックだけでなく、夕食のおかずに適した商品も重要です。そのため、これまで品揃えしてきた「ゲンコツメンチ」、「ゲンコツコロケ」、「鶏から」など定番メニューに加え、おつまみにもなる「でか焼鳥」「でか串カツ」、さらにはアジフライやイカフライなど水産系メニューも展開し、一層充実させていきます。

また、将来に向けた店舗オペレーションの改革にも取り組んでいます。その一環として、第2四半期からタブレット型端末の導入を開始しており、また、当期中をめどに新型POSレジの導入開始も予定しています。タブレット型端末の導入は、店舗におけるワークシフトの管理やカウンターファストフードの作成オペレーションの効率化を図るもので、将来

的には発注業務も含めた多くの業務が、タブレットを使って、場所を選ぶことなく行えるようになります。また、新型POSレジには、自動釣銭機の導入などによりレジでの精算業務や現金管理業務の生産性向上が期待されます。

このように、商品力の強化などによる既存店日販や売上高総利益率の向上を目指す一方で、店舗生産性改善を目指したシステム投資、銀行事業など新規事業への準備、他のチェーンとの提携による看板替えなど成長のための経費増や投資が続くことが見込まれます。特に、当期からの2年間については、こうした先行投資を実行していくため、短期的に厳しい業績

となることが予想されますが、その先には必ず大きな成果が待っていると信じています。中期経営ビジョンに示す2021年度「国内コンビニエンスストア日販60万円」「連結営業利益1,000億円以上」などの達成に向けて、全員でチャレンジを続け、それぞれの地域で一番と言われるお店を目指してまいります。



Q. 全社的なダイバーシティ(多様性)や働き方改革への取り組みについて教えてください。

A. ローソンには、私を含めさまざまなバックグラウンドの社員がいます。新卒でローソンに入社した人だけではなく、他社でキャリアを積み重ねた人や、私を含め三菱商事からローソンの仲間になった者もいます。また、グルー

プ会社の輪も広がっていますし、出資関係はなくても事業提携先まで含めると非常に多くの方がローソングループを支えています。多様な人財が、出身やバックグラウンドに関係なく、企業理念のもと、全員参加の全員経営を行っているのがローソンです。

動きの速い社会の変化に対応し、次々と新たなチャレンジを続けるには、こうした幅広い人財による組織、ダイバーシティに富んだチームが欠かせません。ローソンは、これまで同様、誰もが働きやすい環境を整備するとともに、女性や外国籍社員の積極的採用や登用を継続していきます。

働き方の多様性にも取り組んでいます。たとえば、育児は女性だけではなく男性も積極的に関わら

と捉え、男性社員の育児休職取得を奨励してきました。現在では取得率は80%を超え、当たり前文化として定着しつつあります。

また、限られた時間内での効率のよい働き方にも着手しています。ワークライフバランスの必要性について、私自身があらゆる場でメッセージを発信し、ローソングループ全社で労働環境の改善・生産性の高い働き方の促進に取り組んでいます。

Q. 三菱商事株式会社がローソンの株式の過半数を所有する親会社となったことにより、今後の戦略に変化はありますか。

A. 目指す方向性や戦略は従来から変更ありません。三菱商事と当社は、2000年に業務提携を締結して以降、常に緊密なパートナーとして連携を取ってきました。

今回、三菱商事がTOBによる過半数の株式取得の提案を行い、当社も独立役員も交えた取締役会での議論を経てそれに賛同したのも、これまで10年以上かけて積み重ねてきたお互いの信頼関係という基盤があったからこそ、といえます。三菱商事としては、消費セクターのなかであって、成長市場の一つといえるコンビニエンスストア事業への期待は大きいと思われますし、また、我々ローソンとしては、従来にない厳しい競争環境を勝ち抜くためには、三菱商事を今まで以上に巻き込んだ総力戦で闘う必要がある、と考えたものです。

グローバル規模で食品原材料の調達ルートを持ち、国内において複数の食品スーパーなどとの協業

関係にある三菱商事グループのネットワークやリソースを最大限活用することにより、当社の戦略である「ローソン型次世代コンビニエンスストアモデル」の構築がより加速できます。

一方で、同社の子会社となっても、ローソンは東京証券取引所一部に上場を続けます。上場企業として、透明性、独立性を維持することは、FC加盟店オーナーをはじめとする多くのステークホルダーに支えられ、社会のインフラとして期待されているコンビニエンスストアとして、非常に重要な意味をもちます。当社は、取締役8名のうち、独立取締役を3名選任しているほか、指名・報酬諮問委員会についても6名の委員のうち5名が独立役員で構成されるなど、コーポレート・ガバナンスが適切に機能するよう配慮しています。株主・投資家の皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

「マチの健康ステーション」として少しでも皆さまの健康的な生活のお手
ローソンでは、毎日の食を通じて健康な身体をつくる「ミールソリュー

伝いがしたい——

ション」を掲げ、おいしく食べて健康に寄与する商品をお届けしています。

サラダやスープで、野菜を食べて健康に

組み合わせを楽しむコンビニサラダ

お弁当やおにぎりなどと組み合わせやすい適量の生野菜サラダや、雑穀
などを使用し、一食で食事を完結できるデリサラダなど、お客さまの食シー
ンに合わせ多種多様なサラダを揃えています。



ナチュラルローソン
フルグラ®をかけて食べるチョップドサラダ

ローソン標準価格：498円(税込)
カロリー：431kcal



ナチュラルローソン
鶏ささみとわかめのこんにやく麺サラダ

ローソン標準価格：330円(税込)
カロリー：78kcal



海藻とじゃこのサラダ

ローソン標準価格：298円(税込)
カロリー：34kcal



シャキッと!®コーンサラダ

ローソン標準価格：148円(税込)
カロリー：48kcal

野菜が摂れるカラダ想いのスープ



ナチュラルローソン
8種野菜と豆のミネストローネ

ローソン標準価格：298円(税込)
カロリー：129kcal



白湯仕立ての餃子スープ

ローソン標準価格：399円(税込)
カロリー：168kcal



ナチュラルローソン
鶏ささみと6種野菜のもち麦スープ

ローソン標準価格：399円(税込)
カロリー：134kcal

健康志向の高まりによる「野菜
をたくさん摂りたい」というニー
ズから、野菜などの豊富な食材
と栄養素が一食で手軽に摂れる
スープが人気です。

※掲載商品は一例です。販売を終了している場合
があります。

カフェインを気にせず いつでもおいしいコーヒーを



MACHI café

カフェインレスシリーズ 発売!

妊婦さんや夜寝る前にもコーヒーを楽しみたい
方などを中心に注目されはじめた「カフェインレス」
のコーヒー。ローソンでは、全国のマチカフェ導入店
舗(約12,300店*)で、カフェインを97%*2以上カット
したカフェインレスコーヒーの発売を始めました。

※1 2017年8月末日現在 ※2 数値は、生豆の分析値です。





GODIVAとの共同開発商品

ローソンは、高品質なコンビニスイーツへのニーズが高まるなか、「お近くのローソンで、その時だけ出会える特別な商品をご提供したい」という思いを込めて、「一期一会」をテーマにGODIVAと共同開発した商品を発売しました。

この商品は発売前から話題となり、ロールケーキは初日1日で約20万食を販売しました。SNSでも「自分へのご褒美として買いたい」「家族や恋人など、大切な方と一緒に食べたい」などのご好評をいただき、第1弾のロールケーキと第2弾のプリン累計販売数は約360万食を記録しました。

これまでの Uchi Café SWEETS × GODIVA

<p>チョコラロールケーキ</p> <p>発売初日に 約20万食を 販売！</p> <p>6月6日発売 ローソン標準価格： 395円(税込)</p>		<p>ショコラプリン</p> <p>クリーミーで 濃厚な チョコレートの 味わい</p> <p>7月4日発売 ローソン標準価格： 320円(税込)</p>	
<p>ショコラタルト</p> <p>ひと口ごとに 異なる食感が 楽しめる</p> <p>9月5日発売 ローソン標準価格： 350円(税込)</p>		<p>ガトーショコラ</p> <p>チョコレートの やわらかな ハーモニー</p> <p>9月5日発売 ローソン標準価格： 320円(税込)</p>	

※上記の4商品はいずれも数量限定で発売し、完売いたしました。



新エルチキ

大きさ、
価格、味を
見直しました！

2017年
6月27日
リニューアル！

「より食べ応えのある『Lチキ』が欲しい」というお客さまの声にお応えするため、従来の「Lチキ」より重量を約80gから約4割アップの約110gに変更しました。

「Lチキ 旨塩チキン」には、岩塩を使用し、さっぱりとしたキレのある味に仕立てました。「Lチキ 旨辛チキン」には、チリペッパーと唐辛子を使用することで、インパクトのある辛さと旨みを加えました。また増量にあわせ、価格も従来の税込130円から税込150円に変更しました。



新キャラクター
「エルチキンちゃん」

ローソン標準価格：
各150円(税込)

旨塩チキン

旨辛チキン

左：Lチキ 旨辛チキン
右：Lチキ 旨塩チキン




Lチキバンズ
ローソン標準価格：72円(税込)

Lチキバンズではさんでチキンバーガーに！



第2四半期連結損益計算書のポイント (単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2016年3月1日～2016年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (2017年3月1日～2017年8月31日)	増減率
(チェーン全店売上高)	(1,076,517)	(1,148,545)	6.7%
営業総収入	306,231	329,402	7.6%
売上原価	80,034	90,077	12.5%
営業総利益	226,196	239,325	5.8%
販売費及び一般管理費	186,270	200,380	7.6%
営業利益	39,925	38,945	△2.5%
経常利益	38,384	38,456	0.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,608	23,644	4.6%

ポイント

1

FC加盟店支援コストなどの増加が大きく、営業利益が減少

店舗数増加を背景に、営業総収入が増加しましたが、施設費の増加やFC加盟店支援コストの増加もあり、営業利益は前年同期に比べ2.5%減の389億45百万円となりました。

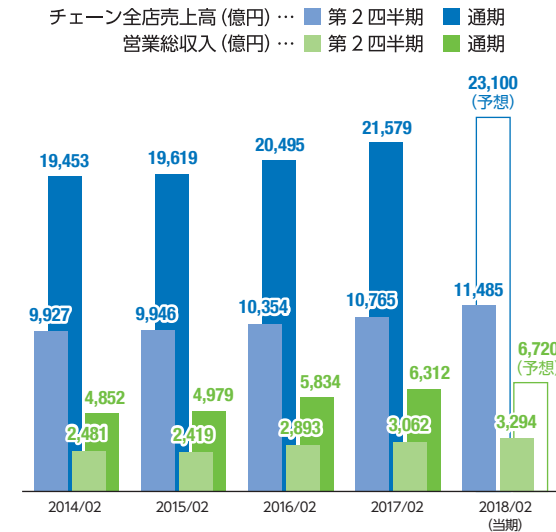
ポイント

2

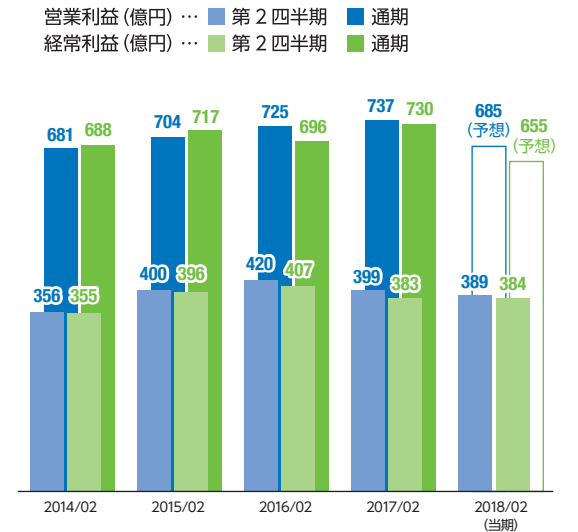
前年同期の営業外損失などの反動もあり、純利益が増加

主に前年発生した災害による損失の反動減が経常利益に寄与し、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期に比べ4.6%増の236億44百万円となりました。

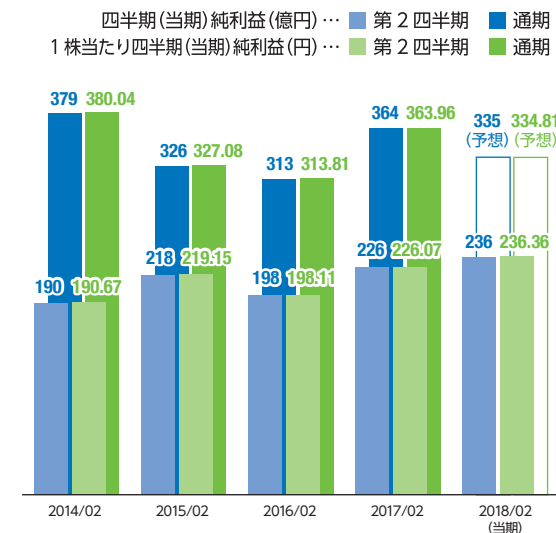
チェーン全店売上高・営業総収入



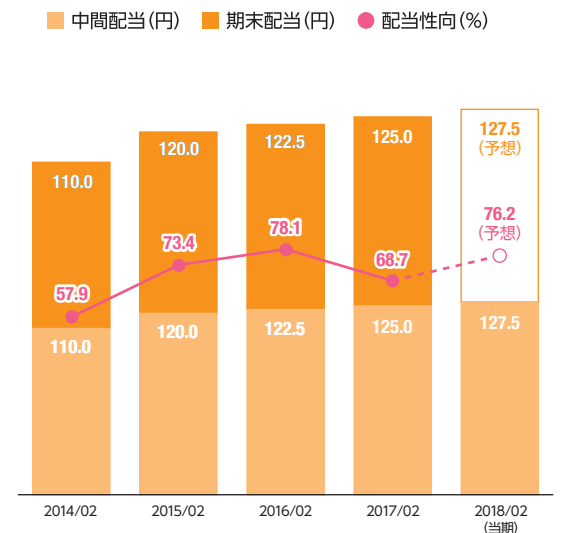
営業利益・経常利益



四半期(当期)純利益・1株当たり四半期(当期)純利益



配当金と配当性向の推移



第2四半期連結貸借対照表のポイント(単位:百万円)

	前期末 (2017年2月28日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2017年8月31日現在)	増減額
流動資産	249,278	269,855	20,577
固定資産	617,299	648,741	31,442
有形固定資産	324,510	338,816	14,305
無形固定資産	94,800	104,421	9,621
投資その他の資産	197,988	205,504	7,515
流動負債	356,783	399,154	42,370
固定負債	223,798	229,645	5,846
純資産	285,995	289,797	3,801
総資産	866,577	918,597	52,019

ポイント

1

有形固定資産の増加などにより総資産が増加

主に店舗数の増加による有形固定資産の増加や取引量増加による未収入金の増加に伴い、総資産が前期末に比べ520億19百万円増加し、9,185億97百万円となりました。

ポイント

2

買掛金や預り金の増加などにより負債が増加

短期借入金の減少があった一方で、2月と8月の営業日数の差異による買掛金の増加や、チケット取扱高の増加などによる預り金の増加もあったことで、負債が前期末に比べ482億17百万円増加し、6,287億99百万円となりました。



より詳細な財務情報をご希望の方は、当社ウェブサイト「IR情報」をご覧ください。

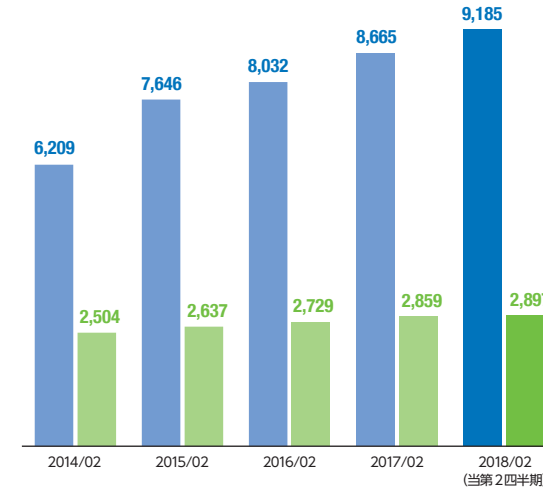
<http://www.lawson.co.jp/company/ir/>

ローソン IR

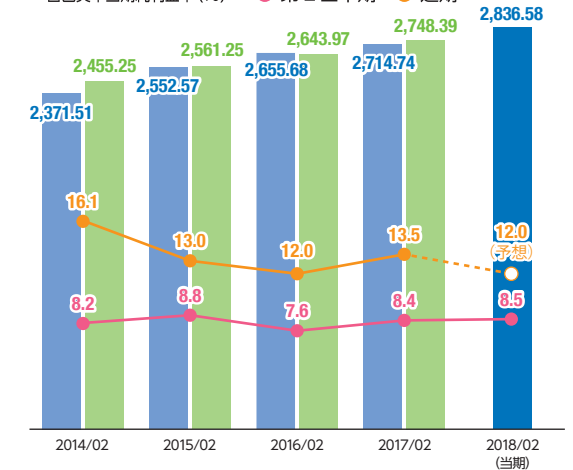
検索

総資産・純資産

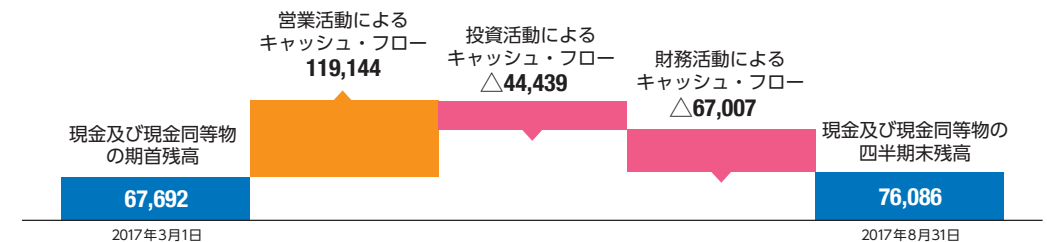
■ 総資産(億円) ■ 純資産(億円)



1株当たり純資産・自己資本当期純利益率(ROE)

1株当たり純資産(円)… ■ 第2四半期 ■ 通期
自己資本当期純利益率(%)… ● 第2四半期 ● 通期

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書のポイント(単位:百万円)



現金及び現金同等物に係る換算差額及び連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額については記載を省略しています。それにより生じるグラフの誤差については調整しています。

ポイント

1

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比べ276億71百万円収入が増加し、投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出などから、前年同期に比べ154億48百万円支出が増加しました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の返済に伴い、前年同期に比べ392億48百万円支出が増加しました。

TOPICS

設置型オフィス内コンビニ「プチローソン」、展開開始

職場環境向上の一環として、手軽にオフィス内で食品などが購入できるサービスのニーズが高まるなか、2017年7月3日から交通系電子マネー専用セルフレジによる設置型オフィス内コンビニ「プチローソン」のサービスを東京都23区内先行で開始しました。

電子マネー決済専用とすることで、さまざまな価格帯の商品の販売が可能となり、また、販売状況を遠隔で把握できるため、効率的に商品補充を行えます。お菓子類のほか、オプションとして小型冷蔵庫と冷凍庫、簡易版のコーヒーマシンの設置が可能です。将来的には既存店からの配送を含めた全国エリアへの拡大を目指しています。



設置型オフィス内コンビニ「プチローソン」

ひとり親家庭支援奨学金制度を設立

ローソングループは、次世代を担う子どもたちへあきらめず「夢」に向かってほしいという願いを込めて「夢を応援基金」を創設し、店頭募金や本部寄付金等を活用した奨学金やサポートプログラムを通じて支援しています。2017年7月1日からは、従来の「東日本大震災奨学金制度」に加え、ひとり親(母子等)家庭の子どもたちを支援する「ひとり親家庭支援奨学金制度」(運営:一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会)を設立し、店頭募金「ローソングループ“マチの幸せ”募金」で受付を開始しました。この奨学金制度は、返還不要で一人につき月額30,000円の奨学金を支給し、子どもたちの就学を支援します。学識経験者等による選考委員会で奨学生400名を決定し、2017年12月末までに1回目の奨学金支給を目指します。



店舗情報 (2017年8月31日現在)*

■ 店舗数国内合計
13,450
(795) 店舗

福岡 483
佐賀 69
長崎 106
熊本 150
大分 179
宮崎 104
鹿児島 194
沖縄 218

九州地方
1,503
店舗

鳥取 140
島根 149
岡山 178
広島 205
山口 118

中国地方
790
店舗

新潟 154
富山 188
石川 102
福井 112
山梨 125
長野 175
岐阜 171 (6)
静岡 261
愛知 655 (97)
三重 138

中部地方
2,081
(103) 店舗

北海道地方
654
店舗

東北地方
1,069
店舗

青森 239
岩手 168
宮城 230
秋田 189
山形 106
福島 137

四国地方
619
店舗

徳島 133
香川 132
愛媛 218
高知 136

近畿地方
2,537
(178) 店舗

滋賀 154
京都 338 (29)
大阪 1,105 (116)
兵庫 667 (33)
奈良 135
和歌山 138

関東地方
4,197
(514) 店舗

茨城 203 (4)
栃木 158
群馬 118
埼玉 658 (45)
千葉 552 (48)
東京 1,607 (281)
神奈川 901 (136)

海外地域別ローソnbrand店舗分布状況

中国上海市とその周辺地域	780店舗
中国重慶市	145店舗
中国大連市	96店舗
中国北京市	61店舗
中国武漢市	134店舗
タイ	92店舗
インドネシア	37店舗
フィリピン	32店舗
米国ハワイ州	2店舗
合計	1,379店舗

コンビニエンスストア以外の店舗数

成城石井(直営店)	137店舗
ユナイテッド・シネマ劇場数	39劇場
HMV	54店舗

上記店舗数には(株)ローソン山陰、(株)ローソン高知、(株)ローソン南九州、(株)ローソン沖縄が運営する店舗数が含まれます。

*カッコ内の数字はローソンスタア100の店舗数(内数)です。

会社概況 (2017年8月31日現在)

会社概要

社名 株式会社ローソン
所在地 〒141-8643 東京都品川区大崎一丁目11番2号
TEL.03-6635-3963
設立 1975年4月15日
資本金 585億664万4千円
決算期 毎年2月末日
配当基準日 毎年2月末日、8月末日
社員数 4,427人(単体)
事業内容 コンビニエンスストア「ローソン」「ナチュラルローソン」及び「ローソンストア100」のフランチャイズチェーン展開

役員

代表取締役社長 竹増 貞信
取締役 今田 勝之
取締役 中庭 聡
取締役(社外) 大園 恵美
取締役 京谷 裕
取締役(社外) 秋山 咲恵
取締役(社外) 林 恵子
取締役 西尾 一範
常勤監査役(社外) 高橋 敏夫
常勤監査役 郷内 正勝
監査役(社外) 小澤 徹夫
監査役(社外) 辻山 栄子

グループ企業

主な連結子会社

(株)ローソン山陰
(株)ローソンストア100
(株)SCI
(株)成城石井
(株)ローソンHMVエンタテイメント
ユナイテッド・シネマ(株)
羅森(中国)投資有限公司
上海羅森便利有限公司
重慶羅森便利店有限公司
大連羅森便利有限公司
羅森(北京)有限公司
Saha Lawson Co., Ltd.
(株)ローソン・エイティエム・ネットワークス
(株)ベストプラクティス

主な持分法適用関連会社

(株)ローソン高知
(株)ローソン南九州
(株)ローソン沖縄

当社ウェブサイトからも
さまざまな情報をご覧いただけます。



<http://www.lawson.co.jp/>

株式情報 (2017年8月31日現在)

株式の状況

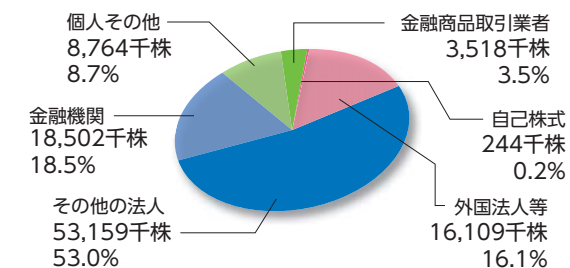
発行可能株式総数 409,300千株
発行済株式の総数 100,300千株
単元株式数 100株
株主数 32,252名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1. 三菱商事株式会社	50,150	50.1
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,521	3.5
3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,953	3.0
4. 株式会社NTTドコモ	2,092	2.1
5. JPモルガン証券株式会社	1,522	1.5
6. STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,473	1.5
7. SMBC日興証券株式会社	1,161	1.2
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,151	1.2
9. 全国共済農業協同組合連合会	1,001	1.0
10. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	957	1.0

※上記の持株比率は、自己株式244,923株を控除して算出しております。

所有者別分布状況



株主名簿管理人の連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式のお手続きについてのご注意

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求、配当金振込口座の指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。
- 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主さまからお取引のある証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要があります。詳しくは、お取引のある証券会社等へお問い合わせください。

公告の方法

電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

● 公告掲載のURL

<http://www.lawson.co.jp/koukoku/index.html>